

## 島 新 報 中 国

脱原発を訴えている小泉純一郎元首相が2月16日、松江市殿町の島根県民会館で講演する。中国電力島根原発が立地する同市で、「国のエネルギー政策を再考する機会に」と市民や大学、宗教界などの有志でつくる実行委員会が企画。聴講者を募っている。

「日本の歩むべき道」と題し、福島第1原発事故やフィンランドの放射性廃棄物の最終処分場視察を機に原発ゼロ、再生可能エネルギーへの転換を唱えるに至った経緯などを話す。2号機の再稼働と3号機の新規稼働に必要な国の審査が続く島根原発の状況も踏まえ、内容になる見通し。

## へ講演で松江 首相元 小泉

## マテーマが原発脱 来月

昨年7月、小泉元首相の知人が世話人を務める「脱原発をめざす首長会議」が松江市で学習会を開いた縁で実現した。実行委は、学習会で報告した市民団体「島根原発・エネルギー問題県民連絡会」が事務局となり、約60の団体・個人が参加。共同代表には島根大元学長の北川泉氏、一畑薬師(出雲市)の飯塚大幸管長たちが名前を連ねる。

午後1時スタート。参加費500円。前売り券は島根、鳥取両県の書店などで販売し、定員(1500人)に達しなければ当日参加も可能。実行委事務局 ☎0852(22)7316。(秋吉正哉)